

知的財産関連の動向

## 最近の WIPO の動き (29)

### 世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所\*

#### 1. はじめに

本稿では、WIPO の最近の動きとして、以下の4つを紹介する。

- ・ ダレン・タン事務局長、就任後初の日本訪問
- ・ WIPO 2022 年の知的財産統計情報を公表
- ・ ブラジル、モーリシャスの国際出願制度への加盟
- ・ 世界知的財産の日 2023 - 女性と知財 - イノベーションと創造性を加速する力



林外務大臣(右)とダレン・タン WIPO 事務局長(左)  
(写真: 外務省提供)

#### 2. ダレン・タン事務局長、就任後初の日本訪問

WIPO のダレン・タン事務局長は、2023 年 2 月 27 日から 3 月 2 日、WIPO 事務局長就任後初めて日本を訪問し、外務・経産・文科の各大臣をはじめ、政府高官、業界関係者、イノベーター、学生など幅広い方々と意見交換を行った<sup>1)</sup>。WIPO 事務局長が、日本の三閣僚と面談する機会を持てたことは、これが初めてである。

タン事務局長は林外務大臣との会談<sup>2)</sup>において、日本の WIPO への協力、また、イノベーションや創造性に関する国際対話促進への貢献に謝意を示した。林外務大臣からは、知財がスタートアップや新規事業の発展を促す環境を構築する上で重要であるとの意見が示された。

西村経済産業大臣との会談<sup>3)</sup>では、効率的なイノベーションエコシステムの実現における政府や国際機関の役割、また国際社会への働きかけについて、意見交換を行った。さらに、特許庁の濱野



西村経済産業大臣(右)とタン事務局長(左)  
(写真: 経済産業省提供)

\* WIPO の外部事務所の 1 つ。東京・霞が関に位置する。詳しくは、WIPO 日本事務所のウェブページを参照されたい:

<https://www.wipo.int/about-wipo/ja/offices/japan/>  
また、WIPO や WIPO 日本事務所の主要な活動については、ニュースレター (四季報) にて定期配信中:  
[https://www3.wipo.int/newsletters/ja/#wipo\\_japan](https://www3.wipo.int/newsletters/ja/#wipo_japan)

長官との会談<sup>4)</sup>では、WIPO 及び特許庁の先端技術分野における協力やイノベーションの推進、グリーン技術の普及について認識を共有した。

さらに、永岡文部科学大臣、都倉文化庁長官とも会談<sup>5)</sup>し、世界の創造性、文化、芸術の促進に向け、クリエイターの権利保護に関する国際協力の重要性を確認した。



永岡文部科学大臣(右)とタン事務局長(左)  
(写真:文部科学省提供)

また、数々の歴史的な遺産や伝統的な文化が残る都市として知られる京都市の門川大作市長と二条城で会談し、歴史的、伝統的な技術が、今日の新技術にうまく利用され、発展している現状について意見交換を行った。



門川京都市長(左)とタン事務局長(右)  
二条城にて

また、タン事務局長は一般社団法人日本知的財産協会(JIPA)主催の第22回JIPA知財シンポジウム<sup>6)</sup>にて、「無形を有形に ~変革する世界でグローバルなインパクトを与えるための知財活用~」とのタイトルにて、変わりゆく世界における知財の影響力について来賓講演を行うとともに、JIPA 柵山会長(三菱電機株式会社)らと意見交換を行った。



JIPA 知財シンポジウムにて、  
来賓講演を行うタン事務局長

小松陽一郎弁護士ら、日弁連知的財産センター、弁護士知財ネットのメンバーとの会談では、法律家がさまざまな知的財産権の効果的な活用への貢献の在り方等について議論した。また、久保雅一株式会社小学館ミュージック&デジタルエンタテインメント代表取締役社長とは、AIやメタバース、更に技術とエンターテインメント業界の融合に関して意見交換がなされた。さらに、内藤昭男セイコーウオッチ代表取締役社長と会談し、同社の伝統的な時計製造の分野を超えた革新的な事業展開の紹介を受けた。関西経済同友会代表幹事でもある、株式会社プロアシストの生駒京子代表取締役社長との面会では、包摂的な知財エコシステムがどのように社会に浸透するか、また、文化的なイノベーションを重視する環境はどのように醸成できるか、幅広い議論が交わされた。また、京都リサーチパーク株式会社を訪問し、岡正治郎常務取締役らによる調整のもと、地元京都のイノベーターや起業家



たちとの意見交換が実現し、無形資産における知財の活発な役割や、女性や中小企業、若者への十分な機会を提供する多様性・包摂性の達成について議論がなされた。

さらに、タン事務局長は大阪大学を訪れ<sup>7)</sup>、2022年より WIPO GREEN パートナーとして参加する同大学への謝意を西尾章治郎総長に伝えるとともに、西尾総長からは同大学の共創の取り組みについての説明を受けた。また、同大学の核物理研究センターを訪れたほか、スタートアップの立ち上げに尽力する Inventors' Club にて、学生や研究員と意見交換を行った。



大阪大学西尾総長（写真左側中央）  
との意見交換

今回の訪日を終え、タン事務局長は自身の SNS<sup>8)</sup> を通じ、「kaizen」, 「shokunin」, 「takumi」といった言葉を用いつつ、「日本のイノベーションエコシステムは、スタートアップや女性起業家といった新しいイノベーションの主体を受け入れるために変化しつつも、このような変化の中で、その遺産を生かし続けていくことを確信している。」と述べた。

### 3. WIPO 2022 年の知的財産統計情報を公表<sup>9)</sup>

WIPO は 2 月 28 日、昨年 2022 年の知的財産統計情報を公表した。これは、国連の専門機関である世界知的所有権機関 (WIPO) が昨年 2022 年の WIPO の知的財産に関する各種統計データを初め

て公表するものであり、具体的には、2022 年の世界の国際特許出願 (PCT 出願)、商標の国際登録出願 (マドリッド協定議定書に基づく国際出願)、意匠の国際登録出願 (ハーグ協定に基づく国際出願) に関する国別、企業別等のランキングを含む統計情報を含むものである。

PCT 出願件数は前年より 0.3% の微増を示して合計 278,100 件に達し、1 年間の出願件数として過去最高レベルを記録した。出願数上位は、中国、米国、日本、韓国、ドイツであり、インド (+25.4%) と韓国 (+6.2%) からの PCT 出願件数が急増した。全体としての伸びは小幅であったものの、2022 年を通じての厳しい経済情勢を考慮すれば、企業によるイノベーションと知的財産への投資は継続しているといえる。国際特許出願が最も多い地域は依然としてアジアで、2022 年は全出願の 54.7% を占め、2012 年の 40.3% からシェアを拡大した。日本企業では、出願件数トップ 10 には、4 位に三菱電機が入り、また、NTT が急成長して 24.9% の伸び率を示し 9 位に、パナソニックが 10 位にランクインしていた。海外企業の主な動きとして、サムスン電子が 44.3% 増とトップ 10 の中で最も高い伸び率を示し、2 位に躍り出た。米国の IBM 社が前年より 8 ランクアップし 27 位。PCT を用いた国際出願へのシフトが見られる。大学・教育機関別の特許出願ランキングでは、日本は東京大学の第 17 位 (118 件) が最高であった。第 1 位は米国カリフォルニア大学 (552 件) で、米中の大学がベスト 10 のうち 8 を占めている。

2022 年、意匠保護のための WIPO のハーグ制度を利用して行われた国際出願に含まれる意匠の数は、11.2% 増の 25,028 意匠に達し、過去最高となった。2022 年に中国がハーグ制度に加盟したことが、国際意匠出願の急増に拍車をかけた。出願人国別に見ると、第 1 位は昨年引き続きドイツ (4,909 件)、第 2 位が 2022 年 5 月に加盟した中国 (2,558 件)、第 3 位がイタリア (2,414 件)、日本は昨年より順位を落とし第 10 位 (935 件) となった。出願人別ランキングでは、長年首位を維持していた韓国のサムスン電子が、米国の PROCTER & GAMBLE CO. (687 件) に第 1 位を譲った。第 2 位はオラン

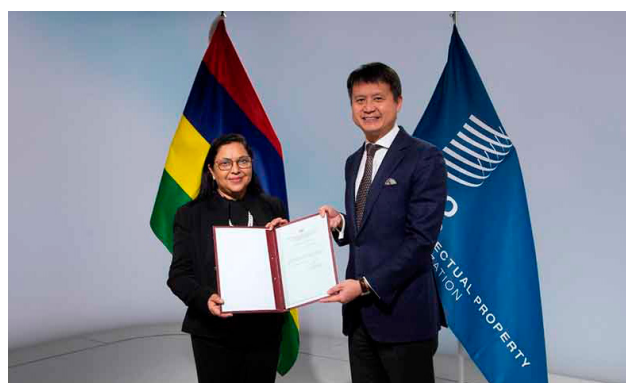
ダの KONINKLIJKE PHILIPS ELECTRONICS N.V. (633 件)、第 3 位はサムスン電子 (451 件) であり、トップ 10 位のうち欧州企業が 6 社、韓国 2 社、中国と米国がそれぞれ 1 社であった。日本からは第 32 位の株式会社ビックウエスト (80 件)、第 42 位の三菱電機株式会社 (72 件) がトップ 50 に入った。

2022 年、ブランド保護のためのマドリッド制度を利用して行われた出願件数は約 69,000 件であった。前年の 2021 年は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックがもたらした経済的混乱によって、企業が新たな商品やサービスの導入に動き、それが国際商標保護の急拡大を促したとされ、15% もの高い伸びを示した一方、この翌年の 2022 年は 6.1% 減少し、2009 年以来、最も大きな減少率となったものの、2020 年と比べると 8% 増加している。出願人国籍別に見ると、第 1 位は米国 (12,495 件)、第 2 位がドイツ (7,695 件)、第 3 位が中国 (4,991 件) であり、日本は昨年と同様の第 7 位 (3,145 件) であった。出願人別ランキングでは、フランスのロレアル (L'Oréal) が 160 件のマドリッド商標出願を記録し、2022 年も前年に引き続き、出願件数のトップを維持した。日本からは、トップ 10 の中に資生堂 (第 6 位)、任天堂 (第 10 位) がランクインしていた。

#### 4. ブラジル、モーリシャスの国際出願制度への加盟<sup>10)</sup>

ブラジルがハーグ制度に加盟し、条約は 2023 年 8 月 1 日に発効される。ブラジルはラテンアメリカ最大の経済大国であり、ブラジルの加盟により、意匠保護を確保するためのグローバルな選択肢としてのハーグ制度の意義がより高まると期待される。

モーリシャスが PCT 制度、ハーグ制度、マドリッド制度へ加盟した。この加盟により、各国際出願制度が特に東アフリカおよびインド洋地域での地位が更に強化されたといえる。



ダレン・タン WIPO 事務局長 (右) と  
在ジュネーブ国際連合及び国際機関  
モーリシャス共和国政府代表部

Usha Chandnee Dwarka-Canabady 特命全権大使

#### 5. 世界知的財産の日 2023 —女性と知財—イノベーションと創造性を加速する力<sup>11)</sup>



4 月 26 日は世界知的所有権機関 (WIPO) を設立する条約が発効した日に由来して、「世界知的財産の日 (World IP Day)」に指定されている。知的財産が日常で果たす役割についての理解を深め、発明者や芸術家の社会の発展への貢献を記念するこの日に合わせて、毎年、世界中でさまざまな記念行事が開催される。

2023 年の「世界知的財産の日」のテーマは「女性と知財—イノベーションと創造性を加速する力」であり、世界中の女性発明家、クリエイター、起業家の活躍を取り上げつつ、直面する課題について考える機会を提供する予定である。また、WIPO 日本事務所では、この日に先立ち本年 4 月 25 日に同テーマの下、東京・イイノホールにて、記念シンポジウムを開催し、女性活躍やイノベーション、知的財産制度等を推進する各界の有識者にご登壇をいただき、多様性のある社会における知的財産の意義や役割について情報発信を行う予

定である。ぜひご来場いただき、多様性や包摂性がイノベーションや知財に果たす役割を考える機会としていただければ幸いである。

(注)

- 1) 関連する WIPO ウェブサイト (日本語) : [https://www.wipo.int/about-wipo/ja/dg\\_tang/news/2023/news\\_0008.html](https://www.wipo.int/about-wipo/ja/dg_tang/news/2023/news_0008.html)
- 2) 外務省ウェブサイト : [https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press6\\_001425.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press6_001425.html)
- 3) 経済産業省ウェブサイト : <https://www.meti.go.jp/press/2022/02/20230227002/20230227002.html>
- 4) 特許庁ウェブサイト : <https://www.jpo.go.jp/news/ugoki/202302/2023022801.html>
- 5) 文部科学省ウェブサイト : [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/activity/detail/2023/20230227.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2023/20230227.html)
- 6) 第 22 回 JIPA 知財シンポジウム : <https://www.jipa.or.jp/form/22sympo.html>
- 7) 大阪大学ウェブサイト : <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2023/03/08001>
- 8) タン事務局長の Linked In (英語) : [https://www.linkedin.com/posts/darentang\\_wipo-japan-activity-7037389889914425344-dHT3/?originalSubdomain=jp](https://www.linkedin.com/posts/darentang_wipo-japan-activity-7037389889914425344-dHT3/?originalSubdomain=jp)
- 9) 2022 年の知的財産統計情報 : [https://www.wipo.int/pressroom/ja/articles/2023/article\\_0002.html](https://www.wipo.int/pressroom/ja/articles/2023/article_0002.html)
- 10) ブラジルのハーグ制度に加盟  
[https://www.wipo.int/hague/en/news/2023/news\\_0009.html](https://www.wipo.int/hague/en/news/2023/news_0009.html)  
モーリシャスの PCT 制度加盟 :  
[https://www.wipo.int/pct/ja/news/2022/news\\_0056.html](https://www.wipo.int/pct/ja/news/2022/news_0056.html)  
モーリシャスのハーグ制度加盟 (英語) :  
[https://www.wipo.int/hague/en/news/2023/news\\_0005.html](https://www.wipo.int/hague/en/news/2023/news_0005.html)  
モーリシャスのマドリッド制度加盟 (英語) :  
[https://www.wipo.int/madrid/en/news/2023/news\\_0005.html](https://www.wipo.int/madrid/en/news/2023/news_0005.html)
- 11) 世界知的財産の日 特設ページ :  
<https://www.wipo.int/ip-outreach/ja/ipday/index.html>  
WIPO 日本事務所主催 世界知的財産の日記念オンラインイベント ウェブサイト :  
[https://www.wipo.int/meetings/ja/2023/wjo\\_ipday.html](https://www.wipo.int/meetings/ja/2023/wjo_ipday.html)

(原稿受領日 2023 年 3 月 10 日)